

|                    |   |
|--------------------|---|
| 大学名等               | 山形大学大学院医学系研究科   |
| 教育プログラム・コース名       | 個別化医療推進に向けた臨床腫瘍医育成コース（正規課程）（テーマ③）   |
| 対象職種・分野            | 医師・腫瘍内科   |
| 修業年限（期間）           | 4年  |
| 養成すべき人材像           | 臨床腫瘍医に、分子標的薬のさまざまな知識、免疫チェックポイント阻害剤の多くの常識、遺伝子治療薬へのエッセンスを与え、新たな治療法を開発できる人材を育成する。  |
| 修了要件・履修方法          | <ul style="list-style-type: none"> <li>・所定の授業科目・実習単位を含め、合計30単位以上を履修し、本研究科の審査を受け合格すること。</li> <li>・更に、学位論文を提出し、審査に合格する事。</li> </ul>                           |
| 履修科目等              | <p>&lt;必修科目&gt; 共通科目(9単位)、臨床腫瘍学特論Ⅰ・Ⅱ・臓器別臨床腫瘍学特論・臨床腫瘍研究開発学特論(8単位)、臨床腫瘍学実習Ⅰ(3単位)、臨床腫瘍学実習Ⅱ(6単位)等</p> <p>&lt;選択科目&gt;臨床腫瘍学実習Ⅲ(3単位)、緩和ケア実習(2単位)、チーム医療実習(3単位)</p> |
| がんに関する専門資格との連携     | 薬物療法専門医（日本臨床腫瘍学会）の研修施設として認定。  |
| 教育内容の特色等（新規性・独創性等） | <ul style="list-style-type: none"> <li>・個別化医療といわれる分子標的療法・免疫チェックポイント阻害剤・遺伝子治療に向けた方向性を掲げていること(新規性)。</li> <li>・それら治療の基本的な講義・カンファランスが入る事(新ニーズ)。</li> </ul>      |
| 指導体制               | <ul style="list-style-type: none"> <li>・山形大学医学部第二内科学講座臨床腫瘍学分野の教員たちが、主として指導に当たる。また、最大限協力大学とのインターネット講義やカンファランスへ参加することで、授業内容を補完する。</li> </ul>                  |
| 修了者の進路・キャリアパス      | <ul style="list-style-type: none"> <li>・主として山形県のがん診療連携病院に勤務し診療普及と啓発にあたる。</li> <li>・総合内科専門医取得2年後には、がん薬物療法専門医を取得する</li> </ul>                                 |